

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マーベラスエンターテイメント
コード番号 7844 URL <http://www.mmv.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山 晴喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山角 信行

TEL 03-5769-7447

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,008	△44.6	21	△90.5	14	△92.5	9	△94.9
23年3月期第1四半期	1,820	△12.3	220	—	191	—	187	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 13百万円 (△93.0%) 23年3月期第1四半期 187百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	78.20	—
23年3月期第1四半期	1,537.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,696	338	9.1
23年3月期	4,092	325	7.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 338百万円 23年3月期 325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現段階では、期末基準日における配当予想については、未定とさせていただきます。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	△45.2	△160	—	△180	—	△185	—	△1,516.39
通期	7,000	0.5	230	13.7	190	28.5	180	37.1	1,475.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) Marvelous Entertainment USA, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付書類P. 4「2. サマリー情報(その他)」に関する事項「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付書類P. 4「2. サマリー情報(その他)」に関する事項「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	123,380 株	23年3月期	123,380 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,380 株	23年3月期	1,380 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	122,000 株	23年3月期1Q	122,000 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 4「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）における当社グループの連結業績は、売上高1,008百万円（前年同期比44.6%減）、営業利益21百万円（前年同期比90.5%減）、経常利益14百万円（前年同期比92.5%減）、四半期純利益9百万円（前年同期比94.9%減）となりました。

音楽映像事業及びデジタルコンテンツ事業において、新作の発売タイトル数及び販売本数が減少したことや、連結子会社である株式会社アートランドのアニメーションの企画・制作事業を平成22年12月1日付で譲渡したこと等により、前年同期と比較して減収減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品（パッケージソフト）化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライセンス（映像著作権）保有作品の製作を行っております。

まず、音楽分野におきましては、「プリキュア」シリーズの企画楽曲商品や、ヴィジュアル系アーティスト「vistlip」の音楽商品等を発売いたしました。

次に、映像分野におきましては、前期より引き続き、「ミュージカル『テニスの王子様』」関連DVD、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「ハートキャッチプリキュア!」、「遊☆戯☆王5D's」等を映像商品化したほか、新たに「スイートプリキュア♪」、「俺たちに翼はない」、「星空へ架かる橋」等の映像商品化を行いました。また、平成22年1月に劇場公開された「劇場版 遊☆戯☆王 ～超融合！時空を越えた絆～」のDVD及びブルーレイを平成23年6月に発売し、商品受注が好調に推移しました。

売上高におきましては、「家庭教師ヒットマンREBORN!」のTV放送が平成22年9月に終了したため、前年同期と比較してパッケージの発売タイトル数が減少したことや、「ミュージカル『テニスの王子様』」関連DVDの商品受注が前年同期と比較して軟調に推移したこと、連結子会社株式会社アートランドのアニメーション企画・制作事業を平成22年12月1日付で譲渡したこと等により、前年同期と比較して減少いたしました。利益面におきましては、売上減に伴い減益となったものの、映像コンテンツへの投資効率の改善が進んだこと等により、利益率につきましては前年同期と比較して向上いたしました。

この結果、売上高は581百万円（前年同期比45.9%減）、セグメント利益は200百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

②デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、家庭用ゲーム機向けゲームソフト及びオンラインゲームを中心としたデジタルエンターテイメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

まず、パッケージ分野におきましては、国内で「アニマルリゾート 動物園をつくろう!!（ニンテンドー3DS）」、「Fish Eyes 3D（ニンテンドー3DS）」、「HALF-MINUTE HERO -Super Mega Neo Climax-（Xbox LIVE アーケード／実績計上は第2四半期より開始）」の新作3タイトルを発売いたしました（前年同期は3タイトル発売）。また、海外向けに「HARVEST MOON DS：The Tale of Two Towns（ニンテンドーDS 北米向け／邦題：牧場物語 ふたごの村）」、「ZOO RESORT 3D（ニンテンドー3DS 欧

州・北米向け／邦題：アニマルリゾート 動物園をつくろう!!)」、「REEL FISHING PARADISE 3D (ニンテンドー3DS 北米向け／邦題：Fish Eyes 3D)」等をライセンスアウトいたしました。

次に、オンライン分野におきましては、前期より引き続き、PC向けブラウザゲーム「みんなで牧場物語」、「ブラウザ一騎当千」のサービスを行いました。

パッケージ分野における発売タイトル数及び販売本数の減少や、旧作のダウンロード販売の減少等により、売上高は302百万円（前年同期比43.1%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比97.4%減）となりました。

③舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興行ビジネスを展開しております。

当第1四半期におきましては、平成23年1月から平成23年2月にかけて公演した「ミュージカル『テニスの王子様』青学vs不動峰」全44公演分の実績を計上いたしました（前年同期は32公演分の実績計上）。「ミュージカル『テニスの王子様』」の観客動員数及び物販売上高が前年同期と比較して軟調に推移したこと等により、減収減益となりました。

この結果、売上高は124百万円（前年同期比41.6%減）、セグメント損失は27百万円（前年同期はセグメント利益25百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて11.7%減少し、3,193百万円となりました。これは主として、現金及び預金が630百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、502百万円となりました。これは主として、投資その他の資産が29百万円増加したことなどによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.7%減少し、3,696百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて11.2%減少し、3,106百万円となりました。これは主として、その他流動負債（未払金など）が262百万円減少したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて6.8%減少し、252百万円となりました。これは主として、長期借入金18百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.8%減少し、3,358百万円となりました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、338百万円となりました。これは主として利益剰余金が9百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、当社は平成23年10月1日付で、当社を存続会社として株式会社AQインタラクティブ及び株式会社ライブウェアと合併することが決定しております。平成23年5月10日に公表いたしました連結業績予想につきましては、現段階では合併により生ずる影響・効果を含めず、各社が引き続き存続することを前提としております。合併により生ずる影響・効果を踏まえた平成24年3月期の連結業績予想につきましては、決定次第お知らせいたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であった Marvelous Entertainment USA, Inc. については、平成23年6月30日付で全株式を譲渡したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計期間より、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

税金費用の計算方法の変更

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

これは当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図り四半期決算における迅速性に対応するためであります。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,749,836	1,118,914
売掛金	495,171	451,191
製品	3,926	1,192
仕掛品	165,593	181,079
映像コンテンツ	23,452	108,450
デジタルコンテンツ	1,034,192	1,131,632
原材料及び貯蔵品	23,493	27,393
その他	136,033	187,030
貸倒引当金	△13,853	△12,961
流動資産合計	3,617,845	3,193,924
固定資産		
有形固定資産	109,218	109,763
無形固定資産	22,883	21,176
投資その他の資産	342,516	371,970
固定資産合計	474,619	502,910
資産合計	4,092,464	3,696,835
負債の部		
流動負債		
買掛金	306,208	213,204
短期借入金	1,520,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	30,500	48,800
未払印税	745,751	662,121
未払法人税等	7,908	990
賞与引当金	60,897	19,013
その他	824,947	561,968
流動負債合計	3,496,213	3,106,098
固定負債		
長期借入金	269,500	251,200
その他	1,596	1,334
固定負債合計	271,096	252,534
負債合計	3,767,309	3,358,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128,472	1,128,472
資本剰余金	1,129,991	1,129,991
利益剰余金	△1,902,075	△1,892,535
自己株式	△27,726	△27,726
株主資本合計	328,661	338,202
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,506	—
その他の包括利益累計額合計	△3,506	—
純資産合計	325,155	338,202
負債純資産合計	4,092,464	3,696,835

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,820,541	1,008,023
売上原価	1,224,029	639,386
売上総利益	596,511	368,637
従業員給料及び賞与	77,837	68,525
貸倒引当金繰入額	680	—
賞与引当金繰入額	19,412	19,013
広告宣伝費	126,876	65,735
その他	151,495	194,351
販売費及び一般管理費合計	376,302	347,626
営業利益	220,209	21,011
営業外収益		
受取手数料	600	1,301
貸倒引当金戻入額	—	892
その他	1,189	1,163
営業外収益合計	1,789	3,356
営業外費用		
支払利息	12,903	9,936
その他	17,543	11
営業外費用合計	30,446	9,947
経常利益	191,551	14,419
特別利益		
貸倒引当金戻入額	170	—
特別利益合計	170	—
特別損失		
関係会社株式売却損	—	3,103
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,118	—
特別損失合計	3,118	3,103
税金等調整前四半期純利益	188,603	11,316
法人税、住民税及び事業税	1,063	—
法人税等	—	1,775
少数株主損益調整前四半期純利益	187,539	9,540
少数株主利益	—	—
四半期純利益	187,539	9,540
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	98	3,506
その他の包括利益合計	98	3,506
四半期包括利益	187,638	13,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,638	13,047
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽映像事業	デジタルコン テンツ事業	舞台公演事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,074,974	532,188	213,379	1,820,541	—	1,820,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,074,974	532,188	213,379	1,820,541	—	1,820,541
セグメント利益	224,618	71,093	25,545	321,257	△101,048	220,209

(注) 1 セグメント利益の調整額△101,048千円は、セグメント間取引消去1,425千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△102,473千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽映像事業	デジタルコン テンツ事業	舞台公演事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	581,188	302,421	124,414	1,008,023	—	1,008,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	581,188	302,421	124,414	1,008,023	—	1,008,023
セグメント利益又は損失(△)	200,566	1,810	△27,403	174,973	△153,961	21,011

(注) 1 セグメント利益の調整額△153,961千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。